

# 令和6年能登半島地震被害による災害支援活動報告書(日報)

別添3

日本臨床衛生検査技師会  
災害対策本部宛て

被災地支援班
報告者氏名:大竹 由香
報告日時: 令和 6年 1月22日

令和6年能登半島地震災害おける災害派遣チームの活動を下記のとおり報告します

活動日時	令和 6年 1月 21日
活動場所(避難所等)	穴水地区(門前中学校、門前東小学校、門前公民館)
活動主目的	DVT検診(Dダイマー、下肢静脈超音波検査)、弾性ストッキング着用指導。 血糖測定
帯同医療チーム名	福井県臨床検査技師会
<p><b>【具体的な活動内容】</b></p> <p>1月20日 福井大学所属技師(大竹 由香、野村 亜希、坪田 英里奈) 17:00 福井大学医学部附属病院に集合 19:00 高岡駅前ルートイン到着 福井県立病院所属技師(清水 早苗(リーダー)、廣部 健、佐々木 千鶴) 清水技師福井市内自宅出発し、佐々木技師宅経由し、廣部技師宅へ 20:10 廣部技師宅を出発 22:10 高岡駅前ルートイン到着</p> <p>1月21日 6:00 高岡駅前ルートイン出発(県立スタッフと合流) 7:08 氷見コンビニでトイレ休憩 8:30 穴水総合病院到着(富臨技他スタッフと合流) 物品搭載、全体ミーティング 8:57 門前中学校へ出発 9:50 門前中学校到着、ミーティング後に活動開始 12:15終了 12:30 門前東小学校へ移動 避難者の昼食終了を待ち、活動開始 15:50 活動終了し、穴水総合病院へ向かう 16:35 物品片付け、ミーティング後、写真撮影し解散 16:50 穴水総合病院出発</p> <p>福井大学所属技師 20:00 福井大学医学部附属病院到着、解散 福井県立病院所属技師 19:10 石川県大場技師 金沢イオンモール前、ローゾン金沢福久東店にて下車 20:00 廣部技師宅到着 20:15 清水技師宅到着</p> <p>①活動内容 上記活動場所にて問診、同意書取得後、下肢静脈超音波検査を実施。血栓(索状を除く)を認めた方に対し採血、Dダイマー測定(鹿児島県:メディカルカーでも実施)。 超音波検査にて血栓を認めた方、およびヒラメ静脈の拡張(9mm以上)を認めた方に弾性ストッキング着用指導を実施。超音波検査は富臨技、富臨技スタッフでトータル111名実施した。 問診により糖尿病の既往がある方には血糖測定を行った。</p> <p>②問題点 弾性ストッキングの着用方法についてスタッフの事前教育が必要であると感じた。 3Pから2Pへの変換用コンセント、弾性ストッキング採寸用のメジャーの不足あり。</p> <p>③派遣者 福井県立病院:清水 早苗(リーダー)、廣部 健、佐々木 千鶴 福井大学医学部附属病院:大竹 由香、野村 亜希、坪田 英里奈</p>	